

科目名	基礎看護学実習 I (Clinical Practice in Fundamental Nursing I)			科目コード	208
開講学科	看護学科	選択区分	必修	単位数(時間)	1単位(45時間)
科目区分	専門科目	履修時期	1年次前期	関連DP	看②③⑤
担当教員	岡田 ルリ子、田中 美延里、野本 百合子、徳永 なみじ、香川 里美、谷本 淳子、森 敬子、大野 祐子、窪田 志穂				
実習目的	看護が実践される場(病院・高齢者施設・大規模事業場)における人々の生活や健康課題に対応した看護活動の実際を学ぶ。これらの体験をとおして、看護職の機能と役割の多様性について理解する。				
実習目標	1 病院・高齢者施設・大規模事業場における人々の生活や健康上の課題を述べることができる。 2 病院・高齢者施設・大規模事業場における人々への看護活動の実際を知り、生活や健康上の課題に対応した看護について述べるができる。 3 各実習場での学びを共有し、看護職の機能と役割の多様性について考えることができる。				

実 習 内 容	
1 実習場所	病院：県立中央病院、伊予病院 高齢者施設：介護老人福祉施設味酒野ていれぎ荘、高齢者総合福祉施設ガリラヤ荘・ガリラヤ久米 大規模事業場：東芝ライテック今治事業所、花王サニタリープロダクツ愛媛
2 実習期間 5日間	1日目：実習オリエンテーション、2-4日目：病院・高齢者施設・大規模事業場、5日目：体験交流会
3 実習展開	<ul style="list-style-type: none"> ・病院(医療分野)、高齢者施設(介護分野)、大規模事業場(産業保健分野)における対象者とのコミュニケーション、または講義・見学をとおして、対象者の日常生活や健康上の課題を理解する。 ・各実習場における看護場面の見学、または講義・施設見学・グループワーク等から看護活動の実際を学び、生活や健康上の課題に対応した看護について学ぶ。 ・各実習場での個々の体験やグループの体験を共有し、看護職の機能と役割の多様性について考える。 <p>*詳細は実習要綱に示す。</p>
成績評価方法	実習評価表(70%)、体験交流会のまとめとプレゼンテーション内容(30%)で評価する。
教科書	茂野香おる・長谷川万希子・林千冬「系統看護学講座 専門分野 I 基礎看護学〔1〕看護学概論」医学書院 阿曾洋子・氏家幸子・井上智子「基礎看護技術」医学書院
参考図書等	適宜紹介する
授業時間外の学習について	実習開始前には、各援助論で学んだ技術を復習する。 実習での体験をまとめる際は、必要な文献を検索・活用して考察を深める。
関連科目	201 看護学概論、203 基本援助技術論、204 生活援助技術論 I ⇒ 本科目 ⇒ 205 生活援助技術論 II、240 看護アセスメント I につなげる
備考	実 岡田、徳永、香川、谷本、森、大野、野本：看護師(医療機関) 田中、窪田：保健師(保健機関)